

■岡田良一郎 明治時代における報徳運動の最高指導者で、長男・次男はじめ俊秀輩出。日本最初の信用組合の創設者。

おかだりょういちろう

蚕社の獄・1839＝ 遠江国佐野郡倉真村で、二宮尊徳の門下に入り報徳運動を進めた総庄屋岡田佐平治の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 6歳：

・・・・・・1848＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝14歳：

開国開港・1854＝15歳：_父の命により、二宮尊徳の門に入り、日光で修行，“遠州の小僧”と愛称される。

松下村塾・1856＝17歳：

尊徳の死去後も日光に留まり、その子尊行に師事して報徳運動を進め、

蕃書調所・1857＝18歳：

安政の大獄・1859＝20歳：_帰郷。

桜田門外変・1860＝21歳： 庄屋となって、父を助けるうち、

薩長同盟・1866＝27歳：

明治維新・1868＝29歳： 明治維新となり、

明治6年政変 1873＝34歳：_浜松県の役人となると、県令の信頼を得、次々と建議、

初の民間工場1875＝36歳：*父が病気となったため退官し、遠江国報徳社を設立、父の後継者として社長となり、

三つの内乱・1876＝37歳： 遠江国州会議長、静岡県民会議長、

西南戦争・1877＝38歳： 静岡県第十大区長。_私塾{冀北学舎}を開いて子弟の育成に努める。

大久保暗殺・1878＝39歳： 建議した資産金貸付所が実現して総括に就任。_(掛川農学社)を興して勸農産業教育に尽力。

沖繩県編入・1879＝40歳： 佐野・城東郡長。_「活法経済論」、

・・・・・・1880＝41歳： 県立掛川中学校長を兼任。_「報徳富国論」、

明治14年政変1881＝42歳：

新体詩抄・1882＝43歳： 二俣紡績会社設立事務取扱い、

秩父事件・1884＝45歳：

内閣発足・1885＝46歳： 掛川銀行頭取。_「報徳学齐家談」など、著作面からも報徳運動を推進。

帝国大学始・1886＝47歳：_浜松県で地租改正反対運動が勃発した際、静岡県民の先頭に立ち地価算定基準改正を政府と交渉、

帝国憲法発布1889＝50歳：

帝国議会始・1890＝51歳： 国会が創設されると、_最初の衆議院議員に当選、

大津事件・1891＝52歳：_信用組合法案が議会解散のため流れると、

大本教・1892＝53歳：*自ら資産金貸付所を掛川信用組合に発展させ、日本最初の信用組合となり、その組合長兼理事長。

郡司千島探検1893＝54歳：

日清戦争始・1894＝55歳： 掛川米穀製茶取引所理事長、

白馬会・1896＝57歳： 衆議院議員に当選。_10年間の努力の末、ついに地価改正に成功。

子規句歌革新1898＝59歳： 資産銀行取締役。_政界を引退し、以後、報徳運動に専念し、明治以降の発展の基礎を築く。

教科書疑獄・1902＝63歳：

日露戦争終・1905＝66歳：

大逆事件判決1911＝72歳：*遠江国報徳社が大日本報徳社に発展するとその社長となる。

明治天皇没・1912＝73歳：

21ヶ条要求・1915＝76歳：*報徳運動が最盛期を迎えるなか、没した。

なお、報徳社の事業は長男の良平(文部大臣)、ついで次男の一木喜徳郎(枢密院議長)に受け継がれた。